

映画祭～シネマ&トーク～

開催日

令和5年
2月18日(土)

午前の部 10:00～11:50 (上映のみ)

午後の部 13:00～16:00 (上映+トーク)



ストーリー



- 上映作品 -

『ヒキタさん! ご懐妊ですよ』 (2019年 / 102分 / 日本)

ヒキタクニオ、49歳。職業は人気作家。サウナとビールが大好きで、ジム通いのおかげでいたって健康体。

一回り以上年が離れた妻・サチと仲良く暮らしている。

年の差婚のふたりは、子どもは作らず、気ままに楽しい夫婦生活を送るつもりでいたが、ある日の妻の突然の一言ですべてが変わった。

「ヒキタさんの子どもに会いたい」

サチの熱意に引つ張られる形で、妊活へ足を踏み出すことになったヒキタ。

だが、彼は知らなかった。まだまだ若くて健康だと自負していたが、相反して、彼の精子が老化現象を起こしていたことを……。



©2019「ヒキタさん! ご懐妊ですよ」製作委員会



光文社文庫

コムズ2階図書コーナーからのお知らせ



原作本貸出中!

映画『ヒキタさん! ご懐妊ですよ』の原作、ヒキタクニオさん著『ヒキタさん! ご懐妊ですよ』(光文社文庫)を貸出しています。

映画では描かれていないお話や、異なる点もありますので、ぜひ、原作本を読んでお楽しみください♪

午前の部・上映の様子

会場設営後



上映前



映画祭では、映画専用の本格的なスクリーンと音響を使用しました。上映後は拍手が上がり、映画も好評で、参加者のみなさんに楽しんでいただくことができました。



経験者が語る不妊治療のリアル ～語られない話題だからこそ伝えたい、あの時の気持ち～

～ヒキタクニオさんと高橋真実子さんをお招きして、不妊治療を経て思うことや不妊治療から得たことをお話しいただきました～

ヒキタクニオさん

(映画『ヒキタさん!ご懐妊ですよ』の原作者)

小説家。東京在住。
デビュー作『凶気の桜』(新潮社)が窪塚洋介主演で映画化。
第7回大藪春彦賞『遠くて浅い海』(文藝春秋)を受賞。



高橋真実子さん

(FM愛媛アナウンサー-&マザーズコーチングスクール認定マザーズティチャー)

FM愛媛「Fine」月～水担当。
コーチとして、子どもやお母さんの孤独をなくす活動など。
6年の不妊治療、1回の流産を経て、現在一男一女の母。
(12歳女子・8歳男子)



● スペシャルトークの様子



上映終了後、ヒキタさんと高橋さんに質問したいことを、会場から募集しました。高橋さんは質問でいただいた話題も取り上げながら、スペシャルトークをさらに盛り上げてくださいました!

例えば、『不妊治療でのストレス解消法を教えてください』という質問に対してお2人は、

ヒキタさん：「たまにはサボることが大切。その月に使う予定だったお金を遊びに使ってみる。そして、結婚した頃などを思い出してみる」

高橋さん：「1ヶ月休むと1回チャンスを逃してしまうんじゃないか・・・となかなかサボれなかった。でも、妊娠に成功しなかった時に“お疲れ会”と称して夫婦で近所の飲食店に行くようにしていた」と、それぞれの解消法を教えてくださいました。



ヒキタさんは、不妊治療を恥づかしくしてしまう男性について、「もう1回惚れさせるくらいの気持ちがないと子どもはなかなか授からない。不妊治療における女性の負担を考えれば、男性の苦労なんて大したことではない。女性に対しては頭が下がる思い」と、女性に寄り添った言葉を投げかけました。

高橋さんは、「不妊治療の経験を経て、頑張っても成果がでないことがあるのだと痛感した・・・。勉強や仕事のように頑張れば状況がよくなるわけではない。なるようにしかならないので、ある意味鍛えられた」と、ご自身の経験を話されました。さらに、スペシャルトークでは、映画で描かれたあの場面は実際どうだったのか、リアルな部分についても聞くことができました。

● スペシャルトーク後のツーショット



会場には、不妊治療を経験したご夫婦も足を運んでくださいました。不妊治療中は映画を観て励まされたとのこと。そして、その後生まれた可愛い赤ちゃんも会場に連れて来てくれました!

参加者のみなさんは、自身の経験と重ねたり、社会問題として不妊治療を考えたりと、それぞれの立場から、映画とスペシャルトークを楽しまれたようでした。

そして、映画では語られなかったけれど、気になるその後・・・果たして赤ちゃんは無事に生まれてきたのでしょうか・・・?
原作本に答えが載っていますので、ぜひチェックしてみてくださいね♪
コムズ2階図書コーナーで貸出中です!

すてきなスペシャルトークでした!
ヒキタさん、高橋さん、ありがとうございました。

